

令和8年3月23日

各団体長 様

旭川剣道連盟会長 原 田 素 行

第44回 旭川地区少年剣道大会の開催について

このことについて、次のとおり開催しますのでご案内いたします。

なお、これまで本大会で赤胴大会旭川予選（旭川地区少年剣道大会小学生高学年の部）を行っていましたが、今年度から別日程とし、5月31日（日）に開催いたします。（実施要領案別紙参照）

記

- 1 日 時 令和8年4月29日（水・祝）※受付は各団体1名でお願いします。
8時00分 開場
8時10分 受付開始
8時15分～8時35分 小学生低学年アップ
8時35分～8時55分 小学生高学年アップ
8時55分～9時15分 中学生・高校生アップ
※会場が手狭なため、アップの時間を部門で分けます。ご協力ください。
9時30分 開会式
- 2 場 所 比布町体育館（比布町南町3丁目3番1号）
- 3 主 催 旭川剣道連盟
- 4 試合種目 団体戦 ※チームの出場制限は行わない。
(1) 5名編成 ・小学生低学年（4年生以下）の部
・小学生高学年の部（5年生以上）
・中学生の部
・高校生男子の部
(2) 3名編成 ・高校生女子の部
- 5 試合方法
(1) トーナメント戦で行う。ただし、高校生の部はリーグ戦で行う場合もある。
(2) 試合は、小学生は2分3本勝負、中学生以上は3分3本勝負とし、同勝者数・本数の場合は代表者決定戦を1本勝負で行う。リーグ戦の場合は、代表者決定戦を行わず引き分けとする。（点数制を導入）
- 6 試合・審判
(1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則及び細則による。
(2) 四～七段の各先生に審判を委嘱する。（道場・支部からの推薦は不要）
- 7 表 彰 各部門の優勝、準優勝、3位（10チーム以上出場の部門は2チーム）を表彰する。

8 参加料

(1) 1チーム 6,500円(高校生女子の部は3,900円)

(2) 参加料は次の口座に振り込むこと。

銀行名 旭川信用金庫神居支店

口座名 旭川剣道連盟会長 原田素行 (ハラダ モトユキ)

口座番号 普通 0466458

9 申し込み

(1) 申込書を4月8日(水)までに事務局へ提出すること。※高校の部のみ4月15日(水)

〒070-0901 旭川市花咲町5丁目総合体育館内 旭川剣道連盟事務局

TEL 080-5006-5344 FAX 0166-51-5501

E-mail asakenren0634@gmail.com

※書式希望の方は道場名を記した空メールを送信ください。極力メールでの申し込みにご協力をお願いします。

(2) 欠員がいる場合は副将、次鋒の順(3人制は中堅)で編成すること。

10 その他

(1) 団体戦のオーダー表(模造紙縦長4分の1)は各チームで用意をし、大会当日各試合場に提出すること。

(2) 当日の選手の欠場や変更(複数チームの選手の入れ替えは認めません)は各試合場の審判主任まで申し出てください。

(3) 初戦の対戦で、欠場者が出て試合をしない選手がいた場合、選手がいるポジションに変更し試合を行います。2名欠場者のチームは、極力2名が2試合ずつ行うのが望ましい。その場合、勝敗は結果にいかさず、次試合から元のポジションで試合を行います。ただし、3人制の団体戦において欠場者が出た場合は、初戦以降も先鋒と大将に選手を固定して試合を行います。また、各試合の結果をいかして団体戦の勝敗を決します。なお、先鋒欠場の場合は中堅が先鋒に、大将が欠場の場合は中堅が大将に入ることとします。

(4) 靴袋を各自用意して下さい。また、ゴミの持ち帰りにご協力をお願いします。

(5) 観覧席・控え室については、本大会は場所を指定しませんので、他団体に配慮しながら利用してください。また、駐車場(利用可能駐車場・別紙)は大変混雑いたしますので、乗り合わせるなど台数の削減にご協力をお願いします。※路上駐車は絶対にしないでください。

(6) 昨年(令和7年度)優勝チーム(低学年:比布、高学年:永山西・陵雲、中学生:剣風会、高校生男子:永嶺、高校生女子:永嶺)は優勝旗の返還をお願いします。

(7) 会場係について、各団体より1名以上の推薦をお願いします。申込締め切り後、事務局より正式に会場係の依頼をいたします。当日プレールーム前にて、打合わせを行いますので、8時20分までに集合をお願いします。

(8) 本大会は入場制限を行いませんが、試合場内(1階アリーナ)の混雑回避並びに円滑な試合進行のため、試合場への入場は最低限とするようお願いします。

【赤胴大会旭川予選実施要領案】

この要領案に記載がない事項は、別途協議し決定いたします。

なお、正式な開催案内は4月下旬に発送いたします。

- 1 日 時 令和8年5月31日（日）開会式9時、閉会式12時予定
- 2 場 所 旭川市東光スポーツ公園武道館
- 3 主 催 旭川剣道連盟
4. 競技種目・試合方法

(1) 団体戦 北海道少年剣道錬成大会の旭川代表10チームを決定する。

①1次予選・・・代表8チームを決定する。

ア 基本団体試合により行う。

イ 8ブロックに分け、リーグ戦で行い、各ブロック1位を代表チームとする。

ウ 代表チームが決定したブロックは、以降の試合は行わない。

エ 旭川地区少年剣道大会小学生高学年の部でベスト8入賞チームを1次予選の8ブロックに振り分ける。

なお、旭川地区少年剣道大会でベスト8入賞が混成チームの場合で、本予選会は違うチームとそれぞれ混成を組む場合、または単独で出場する場合、どちらかのチームをベスト8チームとしますので、混成チーム間で話し合ってください。

また、単独チームでベスト8に入賞したチームが、本予選会で混成チームになる場合は、その混成チームをシードとする。

②2次予選・・・旭川選抜2チームの選手10人を決定する。

ア 代表チームに入れなかった道場・支部の5年生以上の選手（各道場・支部2名以内）により基本判定試合を個人戦で実施する。

イ 5ブロックに分け、リーグ戦またはトーナメント戦で行い、各ブロック上位2人を代表選手とする。

ウ リーグ戦で実施する場合は、代表選手が決定したブロックは、以降の試合は行わない。

エ 申込みの時点で、選手を登録しておくこと。

オ 2道場・支部以上の混成で出場した場合はそれを1道場・支部とみなす。

○基本団体試合の内容

【基本判定試合（切り返し、打込み稽古）】各チーム指導者（高校生以上）の元立ちで、次の稽古を続けて行う。なお、時間は40秒とする。

①切り返し 左右面9本2回共に竹刀で受ける。

②打込み稽古 切り返しに引き続き打込み稽古に入る。（元に戻らない）

【1本勝負試合】基本判定試合の後1本勝負試合を行う。なお、時間は1分とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。

【チームの勝敗決定】チームの勝敗決定にはポイント制を導入する。基本判定試合は5勝に3P、4勝に2P、3勝に1Pを与え、1本勝負は勝者に1Pとし、ポイント同数の場合は、基本判定試合の勝者を勝ちとする。

(2) 個人戦 「赤胴」少年錬成大会の旭川代表選手10名を決定する。

①出場制限・・・人数は昨年度の小学生人数

- ・ 1～5名の団体は1名
- ・ 6～10名の団体は2名
- ・ 11～15名の団体は3名
- ・ 16名以上の団体は4名

②選考方法

≪1次予選≫8ブロックに分け、各ブロックの1位を代表選手とする。

≪2次予選≫各ブロックの2位選手を2ブロックに分け、各ブロックの1位選手を代表選手とする。

③試合時間 3分3本勝負とし、延長は2分区切りとし勝敗の決するまで行う。